

特定非営利活動法人 ポラリス



2023年(令和5)度 事業報告
2023(令和5)年4月1日～2024(令和6)年3月31日

1. 会議等の業務

【第8回通常総会】

日時:2023年6月3日(土)

- 2022年度事業報告(案)・活動計算書決算(案)の承認
- 2023年度事業計画・活動計算書予算の報告

【理事会】

日時:2023年5月30日(火)

- 2022年度事業報告(案)・活動計算書決算(案)の承認
- 2023年度事業計画(案)・活動計算書予算(案)の検討 ほか

【監査】

日時:2023年5月31日(水)

- 2022年度事業報告(案)の監査、承認
- 2022年度活動計算書決算(案)の監査と承認

2. 会員に対する業務

- 正会員・一般会員の入会、継続に伴う業務
- 2022年度事業報告・活動計算書決算及び2023年度事業計画・活動計算書予算の送付
- 事業等の案内および報告資料の送付

3. 経理などの業務

- 資金管理として、現預金などの日常の管理状況を明確にする。
- 税務に関する業務として、源泉徴収税等の税務関連の業務を石田秀男税理士事務所に委託

4. 労務管理などの業務

- 法人に関連する人事労務管理、労働保険や社会保険関係の手続きに関する書類作成・届出、法改正などの業務について、社会保険労務士法人プロゲートに委託

5. 総務関連などの業務

- 業務運営に必要な届出業務
- NPO法人としての宮城県への2022年度事業報告・活動計算書決算の提出(総会後完了)

6. 広報などの業務

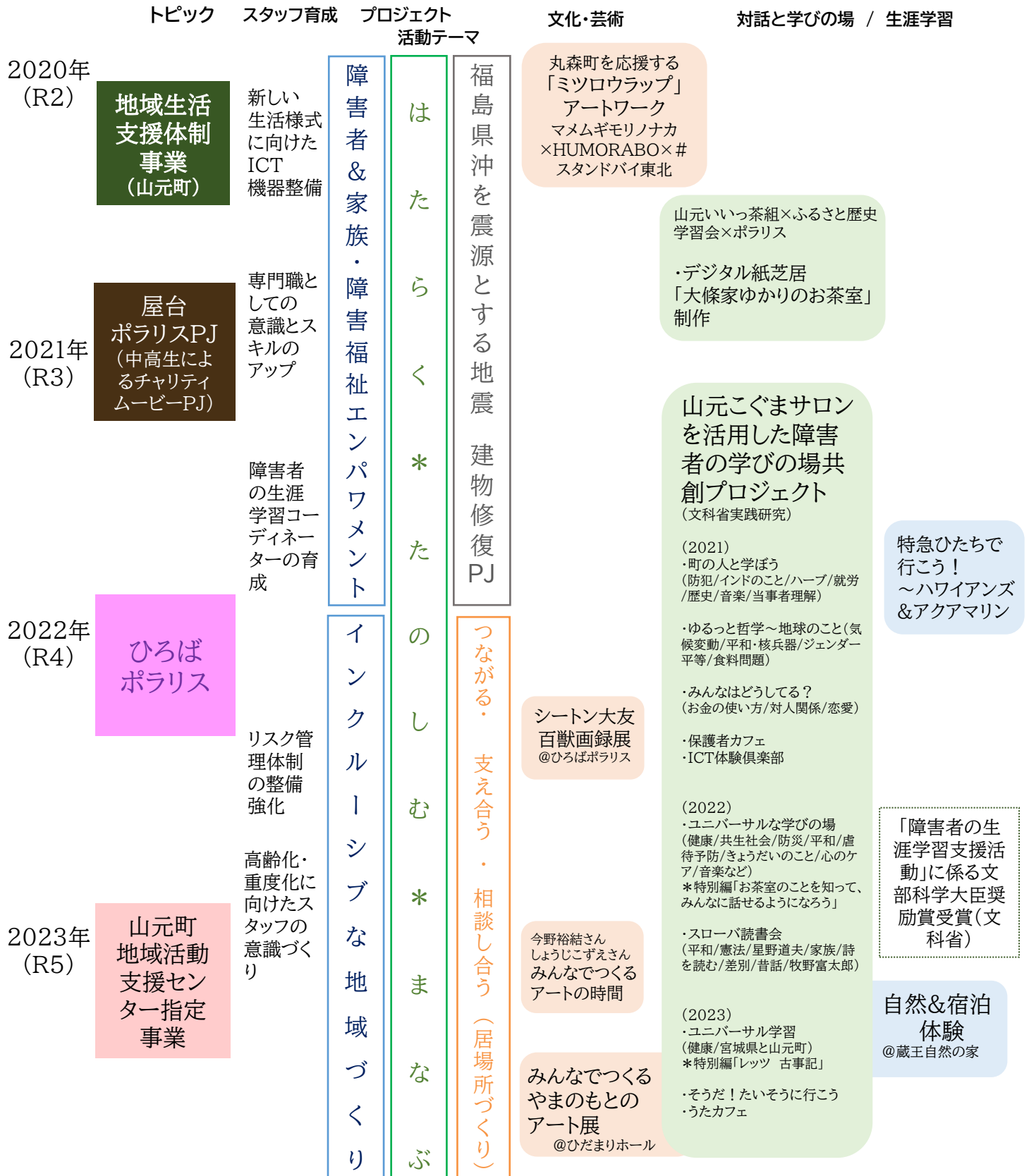
- ウェブサイト、フェイスブックを活用した広報活動
- ポラリス活動報告書、その他を作成し、広報活動を行う。

[組織概要]

設立年月日	2015年5月14日
代表理事	田口 ひろみ
理事	品堀 学 佐藤 路代
監事	大山徳江
会員数	正会員 12名 一般会員80名、29団体(2024年3月31日現在)
住所	〒989-2202 宮城県亶理郡山元町高瀬字合戦原72番地64
TEL/FAX	0223-36-7410
MAIL	koguma@polaris-yamamoto.com
WEB	https://polaris-yamamoto.com



	トピック	スタッフ育成	プロジェクト 活動テーマ	文化・芸術	対話と学びの場 / 生涯学習	
2015年 (H27)	NPO法人 の設立 就労継続 支援B型 ポラリス	法人事務 スタッフ等 の育成	被災障害者の孤立を防ぐ社会参加PJ	アートWS(ワーク ショップ)	心の ケア カフェ 協力・みやぎ心のケアセンター	山元対話と学びの場 ・佐古和枝さんの「合戦原遺跡をもっと知りたい！勉強会」 ・「蟻塚先生の「年忘れメンタル寄席～笑門には福来る」 ・「伊達ルネッサンス塾」の取り組みから考えてみる対話と学び～人と人とのつながり・人づくりについて～ ・その他：被災地山元の創生の関すること
2016年 (H28)	こう・ふく アトリエ Happy やまのもと (フレスコ山下 駅前店の壁画 デザイン)	直接支援 スタッフの 意識と スキル アップ		岩瀬りゆう子さんの うたカフェ		地域学習会 ・憲法/権利擁護/歴史
2017年 (H29)	冊子 「山元ものがたり」 制作		被災障害者と家族の生活再建の応援PJ	「麺とご飯の店見晴」 アート作品展示 スタート	学ぼう。山元のすごい歴史 ・古代の線刻壁画 ・大條家のゆかりの茶室	
2018年 (H30)	「風の章 ガーデン」 (高齢者 施設の 庭づくり)	相談援助 スタッフの 育成	やまのものと アート展 ・マキミノ展 ・壁画「Happy やまのもと」 パネル展 @アトリエ ・ダンスでHappy @フレスコ壁画前 ・タムタムと、めぐるトワル (厚労省モデル事業@宮城)	学ぼう。山元の すごい歴史 ・線刻壁画が山元に 帰ってくる！ ・八重垣神社が6年ぶり によみがえる ・とことん味わう大條家 のゆかりのお茶室	被災障害者の 生きる力を 取り戻す 芸術・文化旅行 ・劇団四季「ライオンキン グ」鑑賞 ・国立西洋美術館	
2019年 (R1)	相談支援室 ポラリス (新地町) しんちまち こぐまサロン ポラリス コーヒーPJ		チーム ワークの 強化	春うらら展 @アトリエ	ポラリスカフェ ・権利擁護/福祉サービス/金銭 管理/災害への備え/住む支援 @ひだまりホール	福地先生の 心のケア 講座
			和泉妃夏さんの映画 「愛のレンピ～卵ランド」 鑑賞&交流会	スローバ店長 朗読タイム ・キング牧師/インディ アンの話/アンパンマンの 歌/ハチドリのひとつしずく		
			Music mailの ミュージカルWS&ライブ	スローバ店長の 語り・朗読		
			「八百物屋まるしん」を アートで楽しくPJ	「新しい東北」 復興創生 顕彰受賞 (復興庁)		
			フォーラムANDANTE ～障害のある人もない人も～ @新地町 ・すんぶちよのダンスパフォーマンス ・KOBÉ-5「弱さと苦勞を力に変える」			
			ポラリスコーヒー パッケージの アートワーク			
			徳本寺法話ライブ ・イメージ画展示			



就労継続支援B型事業所ポラリス

事業開始年月日 2015（平成27）年8月1日
 利用者定員 20名
 従業員数 管理者/サービス管理責任者1名（兼務）
 職業指導員 5名（常勤専従1・非常勤専従4）
 生活指導員 3名（常勤専従1・非常勤兼務2）
 目標工賃達成指導員 1名（常勤専従）



○利用者が高齢化・重度化していくこと、更に次年度にグループホームでの地域生活支援を始めることを考慮して、新たな専門スタッフを増員した。



支援の目標

- 利用者それぞれが目指す「就労」のカタチで、素敵にはたらくように。
- 感染症予防のための「いつもの習慣づくり」と体力維持・向上の心がけ、地域で安心して暮らせるように。

通所状況

年度	開所日数(日)	利用登録者(名)	のべ利用者数(名)	1日平均利用者数(名)
2015(H27)	174	16	1,438	8.3
2016(H28)	291	22	3,006	10.3
2017(H29)	278	22	3,206	11.5
2018(H30)	284	23	3,570	12.5
2019(R1)	269	21	3,516	13.1
2020(R2)	259	21	3,527	13.6
2021(R3)	269	22	3,736	13.9
2022(R4)	293	18	3,651	12.5
2023(R5)	302	18	3,568	11.9

	利用登録者数(名)
山元町	12
亘理町	2
岩沼市	3
柴田町	1
計	18



- スタッフ人数を増やしたことで、土曜日に生活・社会スキルを習得する活動日を設けることができ、開所日数を前年より9日増やすことができた。開所日数増により、1日平均利用者数は減少となった。
- 「はたらく・たのしむ・まなぶ」という活動スタイルが定着し、施設外就労等の「はたらく」ことにより意欲的に取り組むことができた。➡ 一月あたりの平均工賃：22,824円（前年より1,830円 UP）



	就労継続支援B型事業													
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
施設外就労	(株)GRAイチゴワールド 清掃・箱折り、ランナー取り、他 山元町つばめの杜中央公園外1施設トイレ清掃作業 新地スマートエナジー(株) 新地エネルギーセンター 清掃 フレスコ(株) (ハッピーエコプラザ 資源物回収) (株)ひまわりケアシステム 風の章ガーデン 植栽管理 花の店しなほり 生花の搬入・搬出 (福) 静和会 みやま荘 清掃 稱名寺清掃													
	コーヒー	ポラリスコーヒー（豆ピック/焙煎/計量/袋詰め/ハンドドリップ/販売）												
	アート活動	見晴 作品展示(春～夏)						見晴 作品展示(秋～冬)						
		・作品制作 ・展示 ・販売 ・ワークショップ ・アトリエ案内												
	地域参加	山元こぐまサロン（生涯学習）												
		ひろばポラリス（地域交流活動）&屋台ポラリス												
	事務業務	事務補助 ・ パソコン入力 ・ あて名書き ・ 封入作業												
生活訓練	自立を目指した生活スキルトレーニング（洗濯 清掃 調理）													



4/13 麺とごはんの店「見晴」 作品(春～夏)展示



※11/9 秋～冬の作品を展示しました。

4/30 宮城県障害者ポッチャ大会南部大会(大河原)



5名が参加しました。
2人がメダリスト!

5/4 ひろば花壇に日々草・インパチェンスを移植



お母さん方にご協力
を頂きました。

5/10～5/12 山元中学校2年生 職場体験学習



最終日の午後、ポラリス屋外ステージで交流会。
タローマンキャラは、スタッフとメンバーで楽しく作りました。
左から「駄々っ子」「タローマン」「太陽の塔」です。

5/11 ～ミュージカル女優とゆかいな仲間たち～ Music Mailの世界を巡る音楽の旅



日本の歌から始まり、中国、ロシア、トルコ、イギリス、アフリカ、アメリカ、アルゼンチン、キューバ、ハワイ、そして、日本の歌。
ポラリスからぜひ歌ってほしいとリクエストしたのは「サナトリウム」。
そしてアンコールは、ポラリスアーティストが作詞作曲した「1%の希望」演奏の背景に、ポラリスアーティストたちの作品を使いました。また会場準備は、昨日から3日間実習に来ている山元中学校の2年生と、ポラリスのメンバーたちが頑張ってくれました。



東日本大震災ひまわり助成(日本NPOセンター)から応援をいただき、このような楽しい学びの場を作ることができました。

5/17 清水康さんとお別れ(康さんのご自宅:ポラリス「こう・ふく」アトリエ)



ポラリス設立当初から、アート&ケアの場(アトリエ)を山元町に作りたいと言う私たちにご支援をくださり、ご自分のご自宅を無償で貸して下さった清水康さんが永眠されました。享年100才。
彼女はポラリスの向かいにある国立宮城病院でお仕事をされていて、引退してからは山元町の歴史民俗資料館で、子供たちや地域の人に、星空探検や野鳥観察など、望遠鏡も持ってきて下さったり楽しく学ぶお手伝いをされておられました。また、工房地球村と同じ建物内にあった心身障害者援護施設やすぎ作業所では、障害のある方とのお母さん方に寄り添ったボランティアをしてくださっていました。
今考えると、社会教育と福祉の両面でボランティアをされていて、ポラリスが今取り組んでいる活動よりずっとずっと前から、私たちにその大切さを教えてくださってました。大事なことをたくさん教わりました。これまで本当にありがとうございました。ずっとずっと康さんの笑顔をお忘れません。ご冥福をお祈りいたします。

5/26 岩佐洋一さんと戸花山の花を楽しむ



戸花山を整備されている岩佐洋一さんに案内して頂きました。きれいなバラがたくさん咲いていました。

6/22 三島康英さんのシルクスクリーンWS



メンバーの絵がTシャツやエコバックにくっきりと刷られたのを見て、「わあ〜〜！すご〜〜い！」と歓声があがりました。

7/15 岩佐和子さんと風の章ガーデン ハーブ手入れ



エルフの森の岩佐和子さんとハーブの手入れをしました。大きな太陽のようなエキナセア。赤や白の花がたくさん咲いていました。

7/20 壁画「Happyやまのもと」周辺の清掃活動



壁画「Happyやまのもと」前の草取りとお掃除をしました。

8/11 子どもも大人もみんなであそび隊へGO!



午前中はテキパキと仕事を済ませ、お昼を食べて、午後は地域のイベントに参加して楽しい時間。

8/15 戸花山慈母観音さまの草取り&清掃活動



お盆になり、戸花山の慈母観音さまの掃除をしました。ポラリス隣の花屋さんの協力を得て、お花もお供えしました。

9/9 GRAスタッフとインドのカレーづくり & 安田工務店の夏祭りへGO!



GRAの橋元洋平さん、シンさん、シャクティさんとポラリスが協力して、インドカレー100人分を作りました。バターチキンカレーとひよこ豆のカレーと2種類作りました。メンバーは玉ねぎのみじん切りやトマトの湯むきなど活躍しました。一段落したときに、手作りのスパイスなチャイティーをごちそうになりました。安田工務店のお祭りにもみんな遊びに行きました。

秋！風の章ガーデン
おもいきり伸びた草刈り



夏の間に伸びた草をみんなで
きれいにしました。

10/7 避難訓練



消火器の使い方を練習しました。

体育の日@体育文化センター



近所にある山元町体育文化センターの改修工事が完了し、気軽に運動(ボール遊びやフォークダンスの練習など)ができるようになりました。これから地域の人たちとスポーツでも交流するのが楽しみです。

10/14 「1日限りの美術館 ひだまりアートプロジェクト」



一般財団法人おもいづみ財団、みんなのとしょかん山元主催の
アートイベントに
ポラリスの作品も
展示していただき
ました。

10/18 大友さんの畑で里芋ほり



今年の 猛暑で里芋を育てるのもとても大変だったと伺いました。そんな貴重な里芋をいただいたので、早速芋煮を作って、皆で美味しく頂きました。
毎年、里芋掘りを体験させていただいています。みんな慣れてきてとても上手にできました。

11/3文化の日 山元町歴史民俗資料館企画展
「山元町の至宝展」見学



復元大刀に触ることができる体験コーナーもあり、実際に持ってみることができました。とってもきれいな模様が入っていて、ピカピカ金色でした。

11/4 山元町町民文化祭に参加。
アート作品展示をして地域の方と交流



11月～3月「みんなの昼ご飯」実施
月に数回、広場ポラリスで、お昼ご飯を作ってみなで食べました。



ポラリス「こう・ふく」アトリエの会は山元町文化協会に所属しています。文化祭の会場となったひだまりホールの一室をポラリス展示コーナーとしてお借りしました。お陰様でこれまでお会いしたことのない地域の方とも交流することができました。

11/17 福祉・就労フェア@亶理町役場



亶理地区で初めての開催でした。事業所同士の交流、職員同士の情報交換、当事者や保護者が地域の様々な事業所を知る機会になる、行政職員や地域の方とお会いする機会、そして障害について知っていただく機会になりました。

ポラリスはコーヒー豆ピッキング体験コーナーを設けました。更にアート作品展示、活動紹介パネルの展示をしました。12月のアート展のご案内も出来ました。参加したメンバーにとっても良い経験になりました。

12/15~12/22

おひさま村農園 さつまいも選別作業



サツマイモのヒゲを取ったり、選別作業をしました。はじめての作業はどきどきでしたが、慣れると楽しくなってきた様子でした。

11/23 コダナリエ準備の体験



自分たちがお手伝いできた場所がきれいにライトアップされていて、お手伝いをしたメンバーはとてもうれしそうでした。

12/2 コダナリエ見学



12/16 つばめの杜西区文化祭 アート作品展示/交流



ポラリスのメンバー数名が一人暮らしをしている地区でアート&カフェの交流ができました。次年度秋にグループホームを開所する予定の地区です。皆さん、これからもお世話になります。

12/21 年忘れクリスマス会(ひだまりホール)



スローバックス店長の佐藤浩昭さんが今年の読書会のおさらいとしてシナリオを作ってくれた朗読劇「セロ弾きのゴーシュ」。ナレーター、ゴーシュ、猫、たぬき、カッコウ、ネズミなど講師とポラリススタッフが熱演。

12/23 岩瀬ファミリー クリスマスパティー(発表会)



仙台オペラ協会の岩瀬りゅう子先生にお招きいただき、日立システムズホール(仙台市旭ヶ丘)にて、素敵なオペラ音楽を聴きながらカフェコーナーのお手伝いをしました。

1/9 八重垣神社 初詣



みんなでおみくじを引いて新年の運だめし。

1/28 山元町音楽祭参加/見学



山元こぐまサロン「うたカフェ」プログラムでご指導をいただいた だらごえサークルの合唱に、ポラリスメンバーも参加させていただくことができました。とてもうれしい体験でした。

2月 静海波会員誌でポラリスアート紹介



情報誌の裏表紙一面にポラリスの作品を掲載していただきました。静海波の社長さん(中央)と記念撮影。

3/6 GRAいちごワールドカフェ「いちびこ」



シャベット状の雪の日。悪天候にも負けず、GRAイチゴワールドのショップやトイレのお掃除へ。仕事のごほうびに、いちびこカフェでコーヒーと手作りマフィンをいただきました。ポラリスメンバーの活動をいろいろなカタチで応援してくれるGRAさん、いつもありがとうございます。

3/14 味噌づくりWS



山元町高瀬区で農業をされている遠藤寛さんから大豆をご寄付いただき、手作り味噌ワークショップができました。味噌作りに詳しいお母さんたちに教えてもらいました。

3/28 「まもりーぶ」の説明会(山元町社協)



社協の職員さんから、日常生活自立支援事業「まもりーぶ」についていろいろ教えていただきました。

7/13 2/8 2/22

みんなのお誕生会@見晴



3回に分けて、メンバーとスタッフがお誕生日のお祝いをしました。学生さんと一緒に楽しくお誕生日のお食事ができました。

7/15 保護者同士の顔合わせ&懇談会 8/5 グループホーム(準備委員会)



保護者ごと本人とスタッフ約20名がグループホームについて勉強したり、どんなグループホームにしたいかなど話し合いました。

2/17 コミュニティナース鳴原さんの「女性の体の変化と体調管理」



ホルモンの変化による女性の心身の不安定さや更年期とはどういうものなのか等々Q&A方式で勉強できました。月1回程度、虹色たんぽぽに所属するコミュニティナースに様々なテーマでお話していただき、大変お世話になりました。

3/29 卒業するスタッフを送る会



ポラリスで2018年から5年間働いてくださったスタッフとのお別れ会。引地奈美さん、お疲れさまでした。



今年度から「ひろばポラリス」は、山元町の障害者地域活動支援センターの指定を受け、自宅から一步出て、活動してみたい方を応援するオフィシャルな場所になり、障害のある人をはじめ地域の誰もが、気軽に立ち寄れる居場所づくりに取り組み始めた。



事業開始 2023(令和5)年4月1日
利用者定員 10名
従業員数 管理者1名
指導員2名(うち1名は兼務)

活動内容 創作的活動
塗り絵、描画、折り紙、刺繍、園芸、読書、自主勉強、体操、散歩、休養、パズル、メダカの飼育、掃除など
生産活動
農作業(さつまいもの選別、いちごの箱折り等の体験)
社会との交流活動の促進
かるた、じゃんけん、すごろく、トランプ、将棋
<各種ワークショップへの参加>



障害者とつくる地域づくりのプラットフォーム「ひろばポラリス」

ファイザープログラム～心とからだのヘルスケアに関する市民活動・市民研究支援

アート×学び×居場所(ひろば)づくりを障害者と協同実践することができた。この活動のプロセスを経て、地域住民が世代や分野を超えて繋がり、支え手と受け手という関係を超えながら、障害者と地域のエンパワメントと、インクルーシブな地域づくりを目指す「ひろば」づくりに取り組むことができた。

(成果)

1.当事者のエンパワメント

- アート×学び×居場所(ひろば)づくりに取り組みながら、自己肯定感と自己有用感を育むことができた。
- 「他者を認める・受け入れる・否定しない」という価値観について共感し合うことができた。
- 当事者が主体的にひろばポラリスでの活動について紹介する「かわら版」づくりに取り組むことができた。
- これまで福祉サービスを利用する機会がなかった人が定期的に「ひろば」を利用するきっかけとなった。

2.地域と新たなつながりを作る場となる

- オープンな場づくり&情報発信でより障害や特性についての理解が深まった。
- 障害の有無に関わらず気軽に来てもらうことにつながった。
- 誰にとってもなじみ深い題材を取り入れ、地域の方も「一緒に学び合いたい」と参加され、共に学び合うことができた。
- フラットな立場・環境の中で、講師・参加者と現在の暮らしや心身の不安などについて、気軽に対話ができる場となった。
- 保護者に「親なき後」を考え合う機会を設け、自分たちの家族の現状と未来を考えたり講師と個別に相談し学び合った。

3.地域の協力者とつながる

- 地元の若手アーティスト:アートワークショップ講師
- 町内の文化芸術団体(山元民話の会):語り部ボランティア
- 地域のそば打ち団体
- 町内企業に勤める外国人
- 地域の民生児童委員
- 町の議員
- 町職員(福祉/教育)

《これからの展望》

宮城県山元町には、まだまだ障害者をはじめとする心身のケアを必要とする人たちの資源(建物)や支援スタッフが極めて少ない。震災から13年が経とうとしているが、その年月で課題も複雑深刻化している。今後の課題として喫緊であるのは、親なき後のサポートであり、居場所づくりと併行して「住む支援」も進めていきたい。地域の中で支援が必要な人たちがフォーマル、インフォーマルな資源と人を活用できる仕組みを作り、過疎の町であっても安心して暮らせる地域であり続けられるように、これからも様々な人や機関を巻き込んで、一歩ずつ取り組んでいきたい。

(アート展示コーナー)



(スローバ文庫コーナー)



(読書会)



(アートワークショップ)



(サロン)



「山元こぐまサロン」を活用した障害者の学びの場共創プロジェクト3

文部科学省 令和5年度 学校卒業後における障害者の学びの支援に 関する実践研究事業

(1) 地域における持続可能な学びの支援に関する実践研究 (イ) 地域連携による障害者の生涯学習機会の拡大促進

ユニバーサル学習

【第1回】保健師さんに聞いてみよう！からだのこと、健康のこと

●日時: 令和5年7月6日 10:00~11:30 ●会場: ひだまりホール 会議室5

●講師: 山元町保健福祉課 ●参加者: 43名



学びのテーマとして、当事者アンケートにおいて最もニーズの高かった「健康」について、保健師や参加者との対話を通じて学んだ。食事や運動、睡眠、健康診断の受け方など、障害の有無にかかわらず、健康なからだをつくるうえで日常的に大切なことを学び合った。

YouTubeポラリスチャンネル
ユニバーサルな学びの場①
「保健師さんに聞いてみよう！
からだのこと・健康のこと」



【第2回】もっと好きになる みやぎ・やまもと

●日時: 令和5年8月31日 10:00~11:30 ●会場: ひだまりホール 会議室5

●講師: 宮城県企画部 部長 武者 光明さん ●参加者: 55名



講師である武者さんの県庁職員としての歩みを伺いながら、働くことによるこびや仕事のやりがい、困難の乗り越え方などを共に考えた。また参加者が、自分の住む市町村や宮城県のことを知り、これからどんなまちになっていったらよいかを、立場を超えて皆で考え合えるプログラムを共創した。

*当初検討していたテーマを変更。本企画を3年間継続したユニバーサル学習の最終回と捉え、県庁職員を講師に招き、参加者がより広い視野で、自分の住む町について考える機会とした。

YouTubeポラリスチャンネル
ユニバーサルな学びの場②
「もっと好きになる みやぎ・
やまもと」



【特別編】「レッツ！！古事記」

●日時: 9月19日(火)13:00~15:00 ●会場: ひろばポラリス

●講師: 歴史論者 三石晃生さん ●参加者: 28名



「古事記」という本の名前は聞いたことはあるが、実際どんな内容なのか。また、難しそうな日本の古典を誰もが楽しく学ぶことができるのか。

「古事記」解説本の著者でもある歴史論者、三石さんを講師に招き、ユニバーサル学習を実践した。障害の有無に関わらず、参加者が共に、講師の解説をききながら、課題図書『レッツ！！古事記』(五月女ケイ子・ポプラ文庫)を読んだ。



6/20 7/11 8/8 9/7 10/12 11/2 11/14 11/21
みんなで作るアートのじかん ●参加者:のべ189名



今年度ははじめた「みんなで作るアートの時間」では、2人の若手アーティストの力を借りた。

町内にある山元支援学校で、夏季休業中のPTA会員研修事業として「親子でアートワークショップ」を開催することができた。保護者や児童・生徒が地域の障害者と一緒に「アートの時間」を過ごすことで、卒業後の余暇の過ごし方について具体的なイメージを持つきっかけをつくった。「アートの時間」の後の保護者との情報交換は、学卒後の本人たちのライフデザインを考える機会となった。



6/29 7/27 8/24 10/26 11/30
うたカフェ ●参加者:のべ154名



2年間、ユニバーサル学習の講師をつとめた、どらごえサークルと当事者が、3年目は1年間継続して合唱に取り組み、成果報告会で発表することができた。

従来のプログラムでは、音楽を聴く側であった当事者が、講師の協力を得ながら演奏する側となることで、表現することや協働することの楽しさを体験した。



5/30 6/1 6/15 7/21 8/3 8/29 9/26 10/24 11/2 11/28
そうだ！たいそうに行こう ●参加者:のべ179名



3年目の新たな実践。これまででは、地域の方に来てもらい学び合っていたが、このプログラムは、自分たちが町のプログラムに参加させてもらい、地域の人たちと一緒に体操に取り組むことができた。

文科省実践研究終了後にも無理なく障害者が地域で生涯学習に参加できる方法の一つになればと考える。



9/28~29 宿泊&自然体験

●場所:宮城県蔵王自然の家 ●参加者:24名



11/14 こけしの絵付けワークショップ(出前教室)

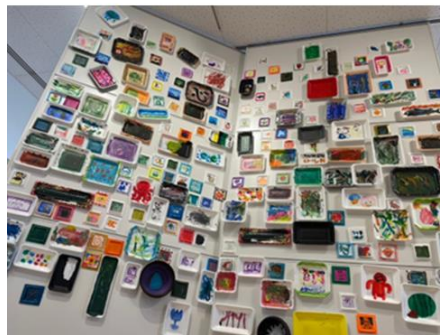
蔵王自然の家に行けなかったメンバーたちや保護者もひろばボラリスでこけしの絵付けができました。



令和5年(3年目)に、宮城県生涯学習課の協力で、蔵王自然の家を活用して実践研究を行った。県の社会教育主事の先生方や大学生ボランティアにも協力をもらいながら、その方々にも大人の障害者と共に活動してその価値を実感してもらうことができた。

12/6~9 みんなでつくる やまのものとアート展~山元こぐまサロン成果報告会~

●会場:ひだまりホール ●参加者:のべ332名



全国障害者週間(12月3日~9日)の期間に山元こぐまサロンの集大成として成果報告会を開催した。プログラム毎の発表の他、障害のある人もない人も共に楽しむことのできるアートワークショップや作品展示を実施することができた。4日間で様々な立場の方、332名が参加できた。※今年1年間の山元こぐまサロン参加者は、のべ1008名。

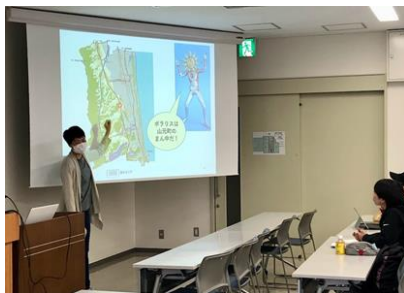
視察研修～活動紹介

5/29 社会福祉法人石巻 祥心会 グループホームやまぼうし視察



公営住宅を活用したグループホームを視察。山元町でも実現できるように一歩ずつ準備を進めています。

6/12 7/3 7/17 東北福祉大学



総合マネジメント学部 森明人先生の講義(社会起業実践論)にて、ポラリスの活動について紹介。これを機会に大学生が山元町にボランティアに来てくれるようになりました。

8/18～8/19 社会福祉法人いぶき福祉会・コープ岐阜 「防災と地域のつながりから震災を経験して～」勉強会



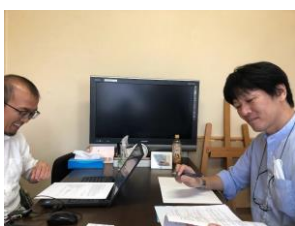
参加して下さった方から「防災だけでなく、共に生きていくためにはやはり地域とのつながり、人とのつながりの大切さを痛感しました。」など、感想を頂きました。防災について岐阜の皆さんと互いに学び合うことができました。

8/24 宮城情報交流会にてポラリスの活動紹介



震災から12年が経つ今、被災した地域での復興への取り組みと、その活動を通して気づいた「大切にしたいこと」をゲストスピーカーとしてお話しさせていただきました。

10/25 社会福祉法人フォレスト倶楽部 代表理事 鶴幸一郎さんを訪問



就労B事業所とグループホームを視察しました。事業に関すること(職員体制・職員業務の効率化対策・事業収支と人件費の考え方・事務局長の仕事の効率化に関すること)についてアドバイスを頂きました。

11/18 障害者の幸せな未来をつくる実行委員会主催 「町民公開講座」@大河原町中央公民館



「障害のある人もない人も共に素敵に生き・はたらく」宮城県山元町ポラリスの取組みについて紹介しました。

1/31 共に学び、生きる 共生社会コンファレンス inみやぎ@リフノス



パネルディスカッション「共生社会について考える～地域の中で共に学び、共に体験し、かわりあっていくために～」に代表理事田口が登壇し、設立当時から9年余り取り組んできた生涯学習を通じたソーシャルワークの活動を報告しました。



体験コーナーでは、ポラリスメンバーも大活躍。社会教育や福祉の関係者との交流を楽しみました。

3/17 ケアする人のケアセミナーin 鎌倉 ～孤立と自律 支え合いの地域づくり～

会場 鎌倉女子大学二階堂学舎

主催 一般財団法人住友生命福祉文化財団
一般財団法人たんぼぼの家

共催 鎌倉市

運営主体 「ケアする人のケアセミナーin鎌倉」実行委員会



(記念講演)
「他者への配慮に希望を見出す」
養老孟司さん(東京大学名誉教授)

(キーノート スピーチ)
「ケアする人のケアセミナーが残してきたものとこれからの期待すること」
一般財団法人たんぼぼの家
理事長 播磨靖夫さん

古代から災害が頻繁に起きてきた国であることを再確認。大震災が起きた時、自分たちがどう生き残れるようにするか。➡食料・支え合う・一人一人が役割を持つ。・・・そういう社会を作ることが、当たり前前の「ケアの社会」これからのポラリスの活動の方向性を模索するきっかけとなったセミナーでした。

ゴヒ 楽千 幸辰 2023年(令和5年)6月21日(水曜日) みやぎ 16版 B(1)



廃プラアート

地域と交流

山元・県支援学校の児童生徒

山元町の県山元支援学校
で20日、児童生徒が廃プラ
スティックを活用したア
ートに挑戦する特別授業が
あった。子どもたちに地域
社会とのつながりを持っ
てもらおうと、芸術活動を
通じた障害福祉事業を展開
する同町のNPO法人ボラ
リスが同校と連携し実施し
た。

小学部10人と中学部5人
が自宅から食品の空き容器を
持ち寄り、ボラリスの20
70代の利用者(人も参加し
た。食品トレーの底や納豆
パックのふた部分にアクリ
ル絵の具で自由に描き、動
物や花、果物などをカラフ
ルに表現した。

講師を務めた岩沼市の画
家今野裕結(さん)は「海
洋(み)としてみんなが問題に
なっている廃プラスチック
の削減や活用について考
えるきっかけになるとい
い」と期待した。

菅原綾教頭は「子どもた
ちが地域の障害者と楽しく
過ごす経験ができてよかつ
た。保護者も巻き込みなが
らこのような機会をもっと
増やしたい」と語った。

作品は12月6〜9日、町
つばめの杜ひだまりホール
でボラリスが開く芸術イベ
ントで、展示される予定。
食品のプラスチック容器に色を
塗ったり、絵を描いたりした特
別授業

地元NPOと特別授業

山元こぐまサロンのご縁でつながった支援学校にアート講師の今野裕結さんとボラリスメンバー7名で伺い、今年度は支援学校を会場としたアートワークショップを実現することができた。講師の今野さんは以前、支援学校の先生をされていたアーティスト。今回個々で制作したものとその後のワークショップで制作したものを合体させ、大きな作品を作り、12月のアート展でコンセプトアート作品としてひだまりホールに展示することができた。

7/11 ひろばボラリス アートワークショップ(広報やまもと2023.8月号掲載)

アートで障がい者と地域がつながる

NPO法人ボラリスでワークショップ

NPO法人ボラリスが障がい者と地域との交流拠点として開設している「ひろばボラリス」で、先月11日、アートワークショップが開催されました。

この事業は今年4月からスタートし、今回で4回目。令和4年3月まで県立山元支援学校の教諭だった画家の今野裕結(さん)を講師に招き、ボラリスの利用者や一般の方10人が、アート制作に取り組みました。納豆のふたなどの廃プラスチックや和紙に描いた作品は、どれも感性豊かで力作揃い。今野さんは「色使いなど、個性あふれる作品ばかりで素晴らしい」と話しました。

廃プラスチックを利用した作品制作は、海洋プラスチック問題をコンセプトとするアートとして、山元支援学校と共に取り組んでいるもので、12月上旬につばめの杜ひだまりホールで展示会の開催が予定されています。



利用者の制作の様子を見守る今野さん(右から2人目)



納豆のふたを利用した作品

地域のことを知り、未来を考える

障がい者と地域の方が共に学ぶ「やまもとこぐまサロン」

8月31日、NPO 法人ポラリスが主催する「やまもとこぐまサロン」がつつばめの杜ひだまりホールで開催されました。

このサロンは、障がい者支援と地域づくりに取り組む同法人が、障がいの有無にかかわらず共に学び、しなやかで優しい、文化のある地域づくりを目指し実施しているもので、今年で3年目となります。

当日は、同法人の利用者や民生委員、関係者など54人が参加。「もっと好きになる みやぎ・やまもと」をテーマに、宮城県企画部の武者光明部長による講話やグループワークが行われました。

民生委員の佐藤真弓さん(牛橋区)は「障がいのある方と一緒に学べる機会はとても貴重です。この活動が町全体に広がればいいと思います」と話しました。



参加者と和やかに交流する講師の武者部長(左)



グループワークで互いの意見を述べる参加者の皆さん

宮城県企画部長 武者光明さんを講師としてお招きしました。テーマは「もっと好きになる 宮城 山元」。文部科学省実践研究として、3年間取り組んできたユニバーサル学習の総仕上げという思いで、学びのエリアを宮城県全体に広げました。講師からは、亘理山元の地域と関連することにも触れていただきながら、宮城県の今とこれからの学ぶことができる、また、直接お会いしないとこんなエピソードをお聞きできないなあ実感する、心があたたかくなるエピソード満載のお話を伺うことができました。今回の企画の特徴は、宮城県や山元町の行政のリーダーの方も参加してくださって、一緒に学びあうことができたこと。この活動が、地域でどんな成果をもたらすのかを行政の方々にも実感してもらおうことを目指しました。印象的だったのは、後半のグループワークの時に、あるグループはポラリスのメンバーが発表することになった時、その隣に座っていた県の職員さんが漢字の読みを静かにさりげなく教えてくださったり、サポートしてくださったこと。今日初めて会ったのに、こんなに協力しあえるってすごいなと思いました。こういった経験をお互いしていくことが、地域共生社会につながると実感しました。

11/24 遊友庵 そば打ち会「そば文化を楽しむ会」@ポラリス(河北新報2023.12.3掲載)

亘理の新そば振る舞う

住民グループ山元の障害者を応援

巨理町のそば打ちグループが11月24日、山元町で障害福祉事業所を運営するNPO法人「ポラリス」の利

用者と職員に、打ちたての亘理産新そばを振る舞った。地元産ソバのおいしさを紹介し、地域で活動する

利用者にはそば打ち方を紹介する石井さん(右)が企画した。

巨理町吉田地区の「遊友庵」そば打ち会(8人)が、山元町内の交流スペース「ひろばポラリス」を訪問。会を主宰する石井秀博さん(75)が、地元で10月下旬に収穫した「常陸秋そば」のそば粉を使って二八そばの打ち方を実演した。

そば打ち歴30年の石井さんは、ひきたて、打ちたて、ゆでたてが一番。地元でおいしいソバが作られていることを知ってもらい、宮城にそば文化がもっと広がってほしい」と語った。

利用者と職員約20人は、おろしふっかけそばを味わった。利用者の田中満さん(56)は「亘理でソバが栽培されていることが分かって良かった。石井さんの技がすくて見入ってしまった」と笑顔で話した。

新そばを楽しむ会。亘理と山元の蕎麦打ち教室の先生たちがひろばポラリスにて蕎麦打ちの技を実演。今年亘理で実った蕎麦と、お母さんたちが揚げてくれた天ぷらを36名でごちそうになりました。

アートで障害者と地域の皆さんがつながる

「山元こぐまサロン」アート展

先月6日から9日の4日間、つばめの杜ひだまりホールを会場に、NPO法人ポラリスが主催する「みんなでつくる・やまのもののアート展」が開催されました。

このイベントは、障害のある人とない人が共に楽しく学び、交流を深め、互いに顔の見える関係を築こうと、令和3年度から実施している「山元こぐまサロン」の集大成として企画されたものです。

会場には、同施設の利用者や山元支援学校の児童・生徒、地域の方などが制作した、描画や刺繍、布の貼り絵などの作品約300点が飾られたほか、障害者週間に合わせたワークショップも開催されました。

田口ひろみ代表理事は「アートを接着剤として、障害者と地域の皆さんとのつながりが深まり、うれしく思います。今後も、しなやかで優しい文化のあるまちになることを目指して活動を続けていきます」と語りました。



創造性豊かな力作ぞろいの作品を展示



ワークショップで講師を務めた画家の今野裕結さんと美術家のしょうじこずえさんの作品も展示。プロの作品に触れアートを楽しむ来場者

12/6～9 「みんなでつくるやまのもののアート展」開催（2023.12.7河北新報掲載）

町と地元のNPO法人「ポラリス」が2021～23年度に展開した地域の障害者と町民が共に学ぶ生涯学習事業「山元こぐまサロンの集大成として企画した。支援学校高等部3年生が短く切ったマスキングテープを重ね貼りしてヒマワリを描いた絵画や、就労支援施設利用者が和紙に端切れ布やレースを貼り付けて太陽と花を表現した作品など、独創的な力作が並ぶ。ポラリスの田口ひろみ代表理事は「アートを接着剤に、来場した人が立場を超えてつながり合う場になってほしい」と願う。サロンで講師を務めた岩沼市の画家今野裕結さん（30）と、石巻市の美術家しよじこずえさん（35）の色鉛筆画や造形作品なども紹介する。

水彩画、こけし… 学習サロンの成果300点



福祉事業所の利用者と山元支援学校の児童生徒の多彩な作品が並ぶアート展

山元町内にある障害福祉事業所の利用者と、県山元支援学校の児童生徒の芸術作品を発信する「みんなでつくる やまのもののアート展」が6日、町つばめの杜ひだまりホールで始まった。水彩画や刺しゅう、カラフルに絵付けされたこけしなど多彩な約300点を披露する。9日まで。

午前10時～午後3時（9日は正午まで）。無料。9日午前10時～11時半に今野さんらが登壇するサロン成果報告会がある。定員250人。連絡先はポラリス0223（36）7410。

山元・県支援学校と事業所利用者 障害者の独創アート集う

ご支援をありがとうございました

(特非) あさがお 朝日山荘厳院 稱名寺 アバカンパニー 石田秀男税理士事務所 (福) 石巻祥心会 (福) いぶき福祉会
(株) 岩見組 (特非) エイブル・アート・ジャパン エルフの森 遠藤電気工事 (株) おひさま村 お弁当 きく邑
おむすびころりん (一社) おもい・つむぎ財団 ガーデン工房 結-YUI- 合戦原区 (特非) 奏海の杜 (株) 河北新報社
木村工事(株) (福) きょうされん こげら合唱団 (特非) 子育てひろば夢ふうせん コダナリエ実行委員会 坂元元気アップ
(株) 佐善工務店 (一社) さんらいず (株) GRA (福) 清水基金 (特非) シャロームの会 旬魚酒房 金八
障がい者の幸せな未来を創る実行委員会 (特非) しんせい 新地スマートエナジー(株) 新地町 (株) 菅原工務店 (有) 鈴や
生活協同組合コープぎふ (福) 静和会 (福) 洗心会 (株) 仙南測量設計 曹洞宗 光明山 徳本寺 曹洞宗 龍頭山 鳳仙寺
(医) 多布施クリニック (財) たんぼぼの家 (特非) 地星社 (福) 中央共同募金会 つばめの杜西区町内会 ドイツ語婦人会
東京零環ライオンズクラブ (学) 東北福祉大学 東北放送(株) 戸山花つつじ・桜サポータークラブ だらごえサークル
(株) ナルケ自動車 (特非) 虹色たんぼぼ 日鉄興和不動産(株) (特非) 日本NPOセンター (公社) 日本フィランソロピー協会
(有) ぬか茂菓子店 (株) 福祉新聞社 花の店しなほり (株) ひまわりケアシステム PMJ 歯科 (特非) 100年福祉会片山工房
ファイザー(株) (一社) ふくのね 藤装建(株) プチットジョア フレスコ(株) フレッシュダグナル (ロウム) プロゲート
(福) 房香会 保険みやぎの ポラリスこう・ふくアトリエの会 ポラリス保護者会 炭焼ホルモン貴 (株) マックス設計
(医) 松村クリニック (株) MAYURA 宮城県立山元支援学校 (一社) まちづくりやまもと 宮城県 宮城県教育委員会
宮城県蔵王自然の家 (一社) 宮城県障害者スポーツ協会 (一社) みやぎ連携復興センター Music Mail みんなのとしょかん山元
(特非) 麦の会こっぺ 麺とごはんの店 見晴 (株) モリキュウ Morino花cco 文部科学省 八重垣神社
森の中の小さな古木屋「スローバックス」 (有) 安田工務店 (株) 山元電設 (有) やまと屋 山元いっ茶組 山元町
山元町教育委員会 山元町傾聴ボランティアの会 (福) 山元町社会福祉協議会 山元町地域包括支援センター 山元町文化協会
山元町民生児童委員協議会 やまもと民話の会 ライオン運輸(株) 霊友会「ありがとうこだま基金」 渡敬商店 亘理町

ほか たくさんの方々から、あたたかいご支援とご協力をいただきました。 本当にありがとうございました。

すきです
Yamamoto



「こんにちは！ポラリスです」

ポラリスは2015年に設立し、東日本大震災で大きな被害を受けたこの町で、「障害のある人もない人も、地域の中で素敵に生き、はたらく」をテーマに、障害者支援と地域づくりに取り組んでいます。

就労継続支援B型ポラリスでは、地域全体をフィールドとして「はたらく・楽しむ・学ぶ」をテーマに、主に町や企業から委託された清掃作業や、アトリエでのアート活動、知りたいことを楽しく学び合う場作りをしています。

また2023年4月に、宮城病院向かいにオープンした地域活動支援センター「ひろばポラリス」では、ゆったりと過ごせるフリースペース

特定非営利活動法人ポラリス 社会福祉士 引地 奈美

や、料理やアート、音楽などの各種ワークショップの場を設け、主に自宅療養中の方が地域に一步踏み出し、つながることのできる場となるように活動しています。

そして障害のある人とない人が活動を通して同じ時間を共有することで、町で出会った時には声を掛け合い、何かの際にはお互いに助け合える、そんな、しなやかで優しい山元町なることを目指して、今後も活動を続けていきます。引き続き、地域の皆さんとも一緒に活動していきますように、これからもよろしく願いいたします！

議会だより やまもと

令和6年2月1日発行

発行/編集
編集/山元町
印刷/佐藤